

市町村名	江府町
取組の名称	教科等における食に関する指導
<p>1 ねらい</p> <p>栄養教諭を中心に食に関する指導を各教科・領域に関連付けながら継続的に実施することで、各教科等の充実を図るとともに、のぞましい食生活の実践につなげていくことをねらいとして本取り組みを実践した。</p> <p>2 内容</p> <p>江府小学校、江府中学校において次のような実践を行った。</p> <p><特別活動></p> <p>(1) 小学校の各学年の学級活動の時間に「きゅうしょくたんけん」、「栄養バランスがよい食事について考えよう」などのテーマで学級担任と栄養教諭でT・Tで授業を行った。学級の実態をふまえながら行うことで、自分の食習慣をふり返り、改善していこうとする意欲をもつことができた。また、本校の研究テーマである「思考力・判断力・表現力を育む対話的で深い学びの在り方～効果的なICTの活用を通して～」もふまえながら、ICTを活用した授業も行った。ICTを活用することで児童が授業に主体的に参加でき、表現力を高めるなど授業の充実をはかることができた。</p> <p>(2) 給食時間における食に関する指導</p> <p>小学5年生 「食品ロスについて知ろう」(社会科との関連)</p> <p>「わたしたちの食生活の変化と食料生産」について学習した後の給食時間に食品ロスについて理解を深める紙芝居をよんだ。授業で習った後におこなったため、「食品ロスは年間600万トンだよ」などの声も聞かれ、社会科で習った学習をより深めることができた。</p> <p><各教科></p> <p>(1) 小学校 3年 国語 「すがたをかえる大豆」</p> <p>すがたをかえる大豆の教材文を読んだあと、栄養教諭がハテナボックスを使って大豆がどのようにすがたをかえているか説明した。実物などを示しながら説明することで、大豆は様々な食べ物に姿をかえて食べられていることを知るとともに、教材文の理解を深めることができた。</p> <p>(2) 小学校 6年 保健体育「生活習慣病について考えよう」</p> <p>生活習慣病について学ぶ学習で、ジュースと同じ量の砂糖を入れた砂糖水を飲む体験を行い、ジュースに含まれる砂糖の量を伝えた。その後おやつに含まれる油や食塩の量について実物を見ながら確認した。実際に試飲することで実感を伴った授業ができ、今後の食生活への実践につなげることができた。</p>	



(3) 小学校5年 社会科 「わたしたちの生活と食料生産」

普段食べている食べ物がどこからきているか調べる際に、給食で食べた食材がどこからきているか栄養教諭から紹介した。給食は県内で作られる食べ物が多く入っていることを知るとともに、外国からきている食べ物もあることも知り、次時への学習へつなげることができた。

(4) 中学校1年 家庭科「食品の保存と食中毒の防止について考えよう」

食中毒予防について学ぶ際に、栄養教諭が普段食べている給食がどのように食中毒予防の工夫をされているかポイントをしぼり紹介することで、食中毒予防について理解を深めることができた。



3 成果と課題

いずれの学習も教科等の目標や内容が身に付き、目標をよりよく達成することを大切にし、食育の視点も入れながら栄養教諭と担任や教科担任がT・Tで授業することにより、教科等の内容について理解を深めることができた。また、その際にT1とT2の役割分担をし授業を行うことで栄養教諭の専門性を活かした指導を行うことができた。

「食」と関連する教科等は今年実践した教科以外にも理科、道徳など様々であるので、今後もどのような教科等と関連させることができるか研究し、食に関する指導が充実し、学校として食育の充実につなげることができるようにしていきたい。